

常なる磐

つねなる いわ

令和2年12月22日(火)

◇ 登校時の持ち物 検討中 その③

児童の登校時の持ち物の検討と対応について、学校は様々な形で動いている。

- ①職員会議での校長からの指針発表
- ② ①を受けての現状把握（現在の各担任の取組）
- ③ ①を受けての担任の考えの集約
- ④児童の実態調査 ※**ランドセル重量**の実測(R2.12.14～18)
- ⑤保護者会を利用した保護者の考えの収集(R2.12.15,18)
- ⑥ ②から⑤を受けての生活指導担当による起案

現状はここまで。

さて、ここで④の**ランドセル重量**の実測結果を公表したい。

曜日（時間割）によって学習内容は変わるので、当然持ち物も変わることから、1週間実測「12/15(月)から19(金)の5日間」を行った。
実測結果は、以下のとおり。

	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
1年生平均	3.90kg	3.52kg	3.94kg	3.60kg	3.04kg
2年生平均	4.54kg	4.37kg	4.25kg	4.16kg	4.18kg
3年生平均	5.48kg	4.82kg	5.24kg	5.20kg	5.00kg
4年生平均	4.58kg	4.14kg	4.15kg	4.47kg	4.51kg
5年生平均	5.93kg	4.55kg	5.14kg	5.64kg	5.69kg
6年生平均	4.71kg	4.53kg	4.59kg	4.83kg	4.81kg
全児童平均	4.87kg	4.34kg	4.55kg	4.67kg	4.61kg
マス色について	4.0kg未満		4.0kg以上		5.0kg以上

数値の高さに驚かれたことだろう。しかし、まず、お伝えしておかなければならないことは、これまで何も手を打たなかったわけではない。教員間での話し合いに基づく対応・改善・工夫を重ねてきた経緯がある。それでもこの状況だ。

理由は一概にはくくれないが、教科書の紙質がよくなったほか、写真や資料が充実したことで教科書が大判になったり、厚みが増えて重さを増したりしていることが大きい。

教科書そのものが、教科書一冊一冊が重いのである。

ここで、少々余談を。

岡崎市教育委員会が展開する【GIGAスクール構想】による岡崎市の教育環境整備に注目していただきたい。

- 主な整備は、 ①【Myタブレット（iPad）の配付】
②OKリンク【おかげキッズ・学びの応援サイト】
<http://www.oklab.ed.jp/weblog/>

①のハード面、②のソフト面、両面での環境配備がされた。

現在の【Myタブレット】の状況は、小学校4年生から6年生の児童一人一人に貸与（※中学校3年生まで個人で活用する）されたMyタブレットを学校で管理し、授業で活用している。（※1年生から3年生については、3学期に貸与開始）

ざっと評価すれば、自分のペースで学習を進めることができるほか、自分が調べたいことの検索等、追究学習の学習効果は絶大である。

さらに、様々な活用方法が期待でき、学習に及ぼす「伸びしろ」は計り知れない。

岡崎市の取組は全国の最先端の位置にある。他郡市も追随したいところだが、タブレット自体の確保が難しく（生産が追い付かない）、全国で同様の対応ができるまでには、相当の時間を要するだろう。

配備が整えば、デジタル教科書の本格導入も検討される。 そうなれば、タブレット一台携えての登校も夢ではない。

その来るべき時期に対応するために、学校でもデジタル教科書も併用して授業を行っているところだ。（※現状では、タブレットを家庭に持ち帰ったところで、Wi-Fi環境があってもライセンス問題で家庭では利用できない）

話を戻そう。

全国の小中学校の児童生徒へのタブレット配備が完了する近未来には、電子教科書の導入により、必ずや登校時の持ち物は減少する。

それまでの間、「家庭での学習に支障がない」ように、さらに「自分で考え、判断する力をつける」、「道徳心を高める」ことも含め、【登校時の荷物の軽量化】と【学校での置き用具】について、学びの保障を踏まえた上での思い切った取組を進めたいと考えている。

現状での負担斤量の具体的な数値が把握できた。続くテスト試行は3学期。

目指すは、背負うランドセル3kg台。 できるならば、1年生は2kg台。

児童が負担減少を体感できるレベルで。 成果は、子供たちの表情を物差しに。